

高槻地区保護司会だより



人はみな
生かされて
生きてゆく
更生保護ネットワーク

〔事務局〕 高槻市社会福祉協議会内
〒569-0065 高槻市城西町4番6号
☎ (072) 674-7684

〔責任者〕 高槻地区保護司会
会長 松本 大
〔編集〕 広報部



新年度のご挨拶

大阪保護観察所
所長 古山 正成

昨年4月1日付けで千葉保護観察所から異動してまいりました古山正成(こやま まさなり)と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

はじめに、高槻地区の更生保護が、保護司の皆様を始めとする更生保護関係者各位の御尽力と、自治体を始めとする関係機関・団体各位及び経済界を始めとする各界の皆様、そして地域の方々からの幅広い御支援と御協力により、充実した制度として営まれていることに対し、心から敬意と感謝の意を表します。

目次

- 【1面】 新年度のご挨拶 大阪保護観察所所長 古山正成
- 【2面】 ホワイトコンサート・新年互礼会報告・第三期定例研修会
- 【3面】 第四期定例研修会・第2回自主研修会・新会員自己紹介・人事消息
- 【4面】 会員文芸欄・あとがき

随筆

「歩き・食べ・飲む会」

高槻・大冠地区

原田 勇

若い頃は、2000m級の山を目指し達成感と爽快感を満喫し山登りの醍醐味を楽しんできましたが、50歳頃からは、気心の知れた仲間10人程に声をかけ、気楽に楽しめるハイキングの会を立ち上げました。

澄んだ空気の山の中でいろいろな料理を作り

私の保護観察日記

島本地区

至田 大助

少年の保護観察の話を書かせていただきます。オレオレ詐欺の受け子を友達に紹介したが、現場に行かず失敗し、その責任を取る為に事件を起こして捕まりました。その後少年院を出て、すぐに仕事を始めましたが、昔の友達と繋がり出した頃か

ビールを飲んで山を散策して来ました。忘れられないのは、最寄りの駅で食材を購入し、山の中で収穫した山菜を天ぷらにして食べたことです。また、真夏に谷川の河原で涼風の中みんなですつた素麺も美味しかったです。

四季の花々や春の新緑、秋の紅葉を求めて山歩きを楽しんできました。ここ3年間ほど、新型コロナウイルスのため活動を休止していましたが、昨年12月から活動が再開しました。参加者の年齢が75歳前後の人が多くなり、腰痛や膝を痛めた人が増え、山道を歩くのは厳しくなつたので、歴史ある街中を散策して楽しんでいます。

この1月には、伏見稲荷駅から伏見稲荷大社に初詣をし、疎水沿いに南下し伏見桃山駅まで約4時間掛けて歩き、京都伏見の酒蔵で新年会をして皆の健康を祈りました。

ら、遅刻や欠勤が増えました。私も面談時に仕事に支障が出るならと注意してましたが、言い方が優しくなかったのか受け入れられず、友達の仕事の方向が簡単に稼げると思い転職しました。その頃から連絡しても返信が無い状態になりました。引受人である父親に連絡するも、最初は、問題視していましたが、「私たちにも生活がある。裏切られた、

親としてすることはした。面倒見れない」と言われました。今回の事案で、当事者本人、家族との距離感の難しさを痛感しました。



あとがき

今年5月より、新型コロナが5類に引き下げられる。マスク着用も屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねられるとのこと。スポーツ観戦時の声出し応援や、イベント等の声出しの規制も解除される。規制緩和に対して、いろいろな意見があることは承知しているが、個人的にはコロナ前の生活に一日も早く戻ることを希望している。(長)

新型コロナウイルス対策のためマスク着用をめぐって室内外を問わず「個人判断」へとなる。分類も「5類」になる。しかし、人混みの多い場所など感染リスクの高い場所でのトラブルの懸念もあがっている。先日、外国に出かけた。着いた途端、マスクの人は少ない。違和感を感じた。出入国の手続きも大変だった。これで良いのか。まだまだ、感染者は多い。世間風潮にのまれるのもどうか?疑問である。(竹)

保護司として2年、経験も浅く「保護司です」と言うのもおこがましい。そのことは研修会に参加するたびにまざまざと思い知らされます。勉強不足はもちろんのこと知らないことが多すぎる。はてはてどうなることやら。とは言え、自分ができることをやると言う一心で頑張ります。(山)

ききよう俳壇

少年の解除が決まり桜咲く
裏山の小径踏み入れ萩若葉
名譽会員 緋田 正俊
残雪の積もりしバスに襟立てて
寒明けて病院の門ぐりけり
松本 大



ききよう歌壇

退院した夫と共にふるさとの
つどの席で笑顔がうれし
初孫が彼女と来宅大人しく若い
二人と話がはずむ
名譽会員 澤田 浩子
赤面のことばかりなるわが人生
振り返らずに前をのみ見る
いまさらに帰りたくない若いこ
ろいまも未熟は変わりなけれど
愚 狂 人

「ホワイトコンサートに行ってきました」

令和4年12月18日(日)13時30分開演。
今年度を締めくくる第72回“社会を明るくする運動”のホワイトコンサートが開催されました。

会場は毎年おなじみの金光大阪中学高等学校の体育館です。

3年ぶりの開催を楽しみにする、大勢の観覧者。それを支えるスタッフ。総勢700人ほどの熱気に加え、体育館内を大型のエアコンが温めてくれました。前回参加した時の寒さに震えたことが、ウソのようでした。コーラス・吹奏楽・ダンス・チャリダーたち、演者の明るい表情と演奏に楽しいひと時を過ごしました。次回も楽しみにしています。

(総務部 吉村記)



新年互礼会

日時：令和5年1月12日(木)18時～20時 会場：宴どころ つきの井 参加者：42名

高槻地区保護司会では、これまでこの時期に高槻現代劇場において、新年互礼会を欠かすことなく開催してきました。

ところが、令和2年1月中旬に世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けて、自粛せざるを得なく開催を見送っていました。

今年は、第8波の感染拡大が懸念される中ではありましたが、3年ぶりに開催することができました。



た。

濱田高槻市長、山田島本町長、大阪保護観察所の佐伯首席保護観察官、高槻地区担当中村観察官のご祝辞をいただいた後、吉里高槻市社会福祉協議会会長のご発声で乾杯の音頭となりました。

ご来賓、名誉保護司はじめ参加者間で、杯を酌み交わすことは控えましたが、和やかな互礼会となりました。

松本会長は「コロナ感染症の影響で社会の分断や格差の拡がりに拍車がかかり生きづらさの深刻化が懸念されています。犯罪や非行をした人を孤立させることなく、だれ一人取り残さない社会の実現を目指すため努力していく」と決意を新たにしました。

ご参加いただいた皆様方ありがとうございました。

(広報部 峯森記)

第三期 定例研修会

日時 令和4年11月18日(金)13:30～15:30
会場 高槻市地域福祉会館3階 研修室
研修課題 「少年法の改正について」
講師 大阪保護観察所 中村暢子 保護観察官

本年度第三期定例研修会を開催しました。少年法改正の意義、内容について理解を深めました。参加者からは、熱の入った情報提供や、意見がありました。参加者は、40名でした。

(研修部 井本記)



第四期 定例研修会

日時 令和5年2月6日(月)13:30～15:30
会場 高槻市地域福祉会館3階 研修室
研修課題 「自由テーマ」
事例発表 「犯罪についての予備知識」について
目良恒郎 保護司(高槻・大冠地区)
「エゴグラムと安全運転教育」について
田原郁子 保護司(芥川・清水・櫻田地区)
「少年A君、2号観察の事例」について
福岡章 保護司(五領・磐手地区)
講評 大阪保護観察所 中村暢子 保護観察官

参加者は37名でした。(研修部 井本記)

第2回 自主研修会

日時 令和4年12月8日(木)13:30～15:00
会場 高槻市地域福祉会館3階 研修室
研修課題 「矯正について」
講師 保護司 龍谷大学特任講師 池田正興氏

豊富な資料と、事例も参考に矯正のあり方について研修しました。

参加者は、保護司、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会、更生保護振興会の総勢46名でした。

(研修部 井本記)



人事消息 (敬称略)

(新任) …………… 令和5年1月25日付

(三箇牧・如是地区)

岡本華世



訃報

名誉会員 堀井恵美子様(88歳)が去る12月17日、名誉会員 三牧文弘様(82歳)が去る1月24日ご逝去されました。

ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

新会員・自己紹介



たにぐち まさのり
(三箇牧・如是地区) 谷口 正則

はじめまして。高槻市西面地区にて地元の先輩保護司の方からお声を掛けていただき保護司となりました。私で務まるのかと不安にもなりましたが、先輩からやりがいのお話、保護司会のバックアップ体制のお話を聞き、挑戦させていただくこととなりました。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。



おかもと はなよ
(三箇牧・如是地区) 岡本 華世

はじめまして。高槻市で4人の子育てをし25年になります。PTA活動を通してたくさんの方々を知り合いになり、助けられ今でも支えられています。こちらで学ばせていただく中で人に頼れる、信じる気持ちで得られることの大切さをこの活動を通して少しでもお伝えできればと思っています。よろしくお祈りいたします。